



平塚合唱連盟理事長
江川 節 弥
せつ や

合唱活動にかかわって

- ・1941年4月横浜生まれ
子どもの頃から歌うことが好きであったが、適当な環境に恵まれず、平塚に勤務するようになってから本格的な合唱活動始める。
- ・1991年～2000年 平塚第九を歌う会 実行委員長
- ・2000年～ ローレンス市との交流合唱団 Hiratsuka Civic Choir (ヒラツカ シビック クワイヤ) 団長
- ・2001年～ 平塚第九を歌う会 顧問
- ・1992年～2001年 平塚合唱連盟理事長
- ・2007年～ //

今でも思い出します。第一回のベートーベンの交響曲第九番（以下第九とする）の演奏会のことを。たまたま合唱団員を集める役目を引き受けることになり、100人集められるかどうか話になりました。いざ募集を開始してみると来るは来るは、1000名を越しそうな勢いで、途中で募集を打ち切りました。最終的には700名近い人が舞台に乗ることになり、それは大騒ぎでした。平塚は文化の陥没地帯などとひそかに言われていたようですが、とんでもないことで、音楽文化に対するエネルギーは潜在しているに過ぎない、表に出る機会がなかったのだと確信しました。それはその後途切れることなく第九の演奏会が続いていること、そして今では多くの第九合唱団員が、平塚以外の地域へ助っ人として出かけていることでも実証されています。

最初の第九合唱団員を募集、運営するにあたり、当時（平成2年）平塚にあった合唱団に呼びかけ何人もの協力者を得ました。それらの方々との連絡組織とし平塚合唱連盟を作りました。

第九は、次第に参加した人で運営ができるようになり、

合唱連盟は、他の活動ができるようになりました。そして、合唱祭の運営、発声講座、フォーレの「レクイエム」、ハイドンの「天地創造」、ヘンデルの「メサイア」、オペラのガラコンサートなど、一つの団ではできないことを計画し実施してきました。



平塚の合唱のエネルギーはますます盛んで合唱祭の参加団体はついに40団体になろうとしています。これだけの合唱団の参加がある合唱祭は他の地域では見られません。熟・老年の合唱団が増えていますが、児童、青年、女声、男声合唱団があり、全国レベルの団から、歌と話と健康維持が等分に目的だというレベルの団までいろいろあります。それはとても素晴らしいことと思います。一人では歌えなくとも大勢と練習すると自然と歌えます。そしてハーモニーが成り立った時には快さが心に沁みます。経験のない方でも大丈夫ですので、是非一緒に歌いましょう。

今年は平塚市文化財団10周年記念事業として12月21日に行われる、平塚市民オペラ「カルメン」に、合唱連盟の立場から参加します。素晴らしい舞台となると思いますのでご期待下さい。

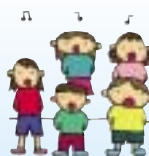
大した合唱経歴がない私ですが、合唱が平塚の地に広がり、根付くよう今しばらく微力を尽くすつもりです。



第35回 ひらつか市民合唱祭

2008年3月9日(日) 午前9時50分開演
平塚市民センターホール

● 入場無料 ●



出演：41団体
講師：浅野深雪
川上勝功
特別出演：片倉広義
ザ・ハーモニック

主催 平塚市・財団平塚市文化財団
平塚合唱連盟
後援 平塚市教育委員会
運営 第35回平塚市民合唱祭実行委員
お問い合わせ (財)平塚市文化財団
TEL 0463-32-2237